

## 会員研修・ビジネス委員会 基本方針（案）

会員研修・ビジネス委員会 委員長 松尾 陽介

1 昨年からの新型コロナウィルス感染症の拡大は、一般社団法人佐賀青年会議所の活動のみならず、各会員の仕事や生活にもさまざまな影響を及ぼしています。ニューノーマルといわれるライフスタイルの変化は、テレワーク、新しいデジタルツールの活用を急速に発展させました。このような社会情勢の中、佐賀青年会議所は人財の確保のみならず、現役会員の資質向上を目指し、他団体と協働し、時代の変化に合わせた事業の形を創り出す必要があります。

7 まずは、佐賀において効果的な社会活動をおこなうために、他団体・他企業との交流を行い、周知啓発に努め、佐賀青年会議所の会員拡大と資質向上を目指します。そして、青年会議所活動の参加を促すために個人の社会貢献活動の見える化を実現するアクトコインを使用することで、会員のモチベーションに繋げます。また、アクトコインの内外の利用者を増やし、より有効性を高めるために、オンラインなどを積極的に活用し、佐賀青年会議所のみに留まらず、佐賀の他団体、他企業と連携した地域活動を行うことで、仲間づくりや地域活動の喜びなどを実感し、自発的に地域活動を実践する人を増やします。そして、このアクトコイン等を使用した事業を次年度以降も継続して行うことができる事業するために、マニュアルの作成、情報の共有を行うことで、特定の会員のみが理解しているのではなく、次年度委員会、他の委員会も事業にアクトコインを紐付けすることができる仕組みづくりを目指します。

18 大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所だからこそできる挑戦と魅力を高めるために、時代に合わせた人財づくりを行うとともに、地域振興の取り組みを継続し、現在（いま）を生き抜き次代へつないで参ります。

21

22

23 [事業計画]

- 24 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 25 2. ビジネス事業の企画・運営（7月）
- 26 3. 厄入厄払の企画・運営（1月）
- 27 4. 例会の企画・運営（4月、11月）
- 28 5. シニア交流事業の企画・運営（6月）
- 29 6. サマーコンファレンス参加者への支援（7月）
- 30 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）